



平成27年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティー・グループ  
代表者名 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ  
(コード番号：9704 東証第1部)  
問合せ先 取締役CFO 佐藤 暢樹  
(TEL 03-3436-1860)

(訂正) 「平成21年12月期第3四半期決算短信」の一部訂正について

当社は平成21年10月30日に開示しました「平成21年12月期第3四半期決算短信」の一部を訂正しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 訂正内容と理由


訂正内容と理由につきましては、平成27年3月20日付「社内調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」および平成27年4月30日付「『平成26年12月期 有価証券報告書の提出』および『過年度に係る有価証券報告書等および内部統制報告書の訂正報告書の提出』並びに『過年度に係る決算短信等の訂正』に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

#### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

## 平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 東海観光株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9704 URL <http://www.tokaikanko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理管掌取締役 (氏名) 宍戸 佐太郎 TEL 03-5488-1010  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績 (平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	875	—	△44	—	8	—	△15	—
20年12月期第3四半期	825	61.6	△555	—	△610	—	△124	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	△0.08	—
20年12月期第3四半期	△0.65	—

(参考) 持分法投資損益 21年12月期第3四半期 △0百万円 20年12月期第3四半期 55百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	10,728	7,320	68.2	38.62
20年12月期	10,926	7,306	66.7	38.50

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 7,311百万円 20年12月期 7,290百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—		
21年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年12月期の連結業績予想 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,057	△4.5	△89	—	△68	—	△98	—	△0.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有

新規 1社（社名 ラヤ・ハジャ社） 除外 4社（社名 センテナリー・デベロップメント社、グ  
ローリー・ドラゴン・デベロップメント  
社、ライト・タイム・プロパティーズ）  
社、チーム・ユナイテッド・プロパティ  
ーズ社

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年12月期第3四半期	189,467,686株	20年12月期	189,467,686株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	146,688株	20年12月期	132,010株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年12月期第3四半期	189,326,344株	20年12月期第3四半期	189,350,950株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている連結予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第 3 四半期連結累計期間の経営成績)

当第 3 四半期連結累計期間(平成21年1月1日～平成21年9月30日)におけるわが国の経済は、世界的な金融不安による景気の急激な悪化と株式市場には底打ちの兆しが見えてきたものの、設備投資の抑制や雇用・所得情勢の悪化を受け個人消費が停滞するなど、先行きは依然不透明な状況となっております。

当第 3 四半期の旅行業界は新型インフルエンザの懸念と天候不良の影響は大きく、旅行を控える動きが広がり第 2 四半期と比べ国内旅行の業況判断指数が 9 ポイント悪化しました。

このような経済状況のもとで、当社グループの経営成績は、株式市況の持ち直し等により売上高では875百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

利益面では、収益性の向上により、営業損失が44百万円と前年同期比510百万円、経常利益は8百万円で前年同期比618百万円とそれぞれ改善しました。また、四半期純損失は前年同期比108百万円増加の15百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (1) 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、新型インフルエンザと天候不良の影響で、売上高は384百万円(前年同期比6.8%減)となりました。また、利益面では引き続き収益性向上に力を注ぎ、営業損失は21百万円(前年同期比39.2%減)と減収増益となりました。

#### (2) 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、景気低迷の影響を受け軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は207百万円(前年同期比13.4%減)となり、営業利益は86百万円(前年同期比21.2%減)と減収減益となりました。

#### (3) 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、国際的証券市況の持ち直しにより黒字化となり、売上高は92百万円を計上する事ができ、営業利益も同じく92百万円(前年同期は営業損失428百万円)となり、前年同期比520百万円の改善となりました。

#### (4) 霊園事業

霊園事業部門におきましては、景気低迷の影響を受けたものの堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は190百万円(前年同期比10.8%増)となりましたが、のれん償却額の計上により営業損失は28百万円(前年同期は営業損失40百万円)と増収増益となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しているため、文中の前年同期比の増減金額及び増減率は、参考情報として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第 3 四半期連結累計期間末における資産は開発事業等支出金及び投資有価証券の減少並びに有価証券の増加等により前連結会計年度末比198百万円減少の10,728百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比211百万円減少の3,408百万円となりました。

この結果、当第 3 四半期末における純資産は、前連結会計年度末比13百万円増加の7,320百万円となり、自己資本比率は、68.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比85百万円減少の547百万円となりました。

当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業投資有価証券の減少等により190百万円の収入となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入及び貸付金の回収等により6百万円の収入となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により283百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当期の見通しにつきましては、平成21年7月30日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の移動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）

期中における重要な子会社の移動は「新規1社」及び「除外4社」で、詳細は以下の通りであります。

名称	所在地	資本金又は出資金	主要な事業の内容	議決権の所有割合
新規1社				
ラヤ・ハジャ社	マレーシア	100マレーシアリングgit	住宅等不動産開発事業	100.0%
除外4社				
センテナリー・デベロップメント社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
グローリー・ドラゴン・デベロップメント社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
ライト・タイム・プロパティーズ社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
チーム・ユナイテッド・プロパティーズ社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%

(注) 除外4社はすべて英領ヴァージン諸島国際事業会社法 (B.V.I International Business Act.) に基づく投資事業会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税効果会計につきまして、簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

(四半期連結財務諸表に関する会計基準)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは継続的に営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況を解消すべく、主に以下の内容の諸施策を継続的に実施しております。

① 宿泊事業

従来より料理・サービス並びに施設の改善に努めておりますが、引き続き本社営業部門の拡充、東南アジアを主とした海外集客等の営業を強化する一方、仕入れ先の選定等も行い、収益性の向上を図ってまいります。

② 住宅等不動産開発事業

所有している都内賃貸マンションは満室化を目標にコストの低減をはかり収益性を向上させてまいります。又、安定収入を得るために収益性の良い物件を取得すべく努めてまいります。

③ 霊園事業

新しい納骨堂の建設を行い、納骨堂の販売に伴う大幅な売上の増加を図ってまいります。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	747,083	819,504
売掛金	32,032	34,592
有価証券	508,360	351,145
貯蔵品	11,376	11,030
開発事業等支出金	<u>471,335</u>	<u>472,813</u>
その他	166,758	78,338
貸倒引当金	<u>△4,509</u>	<u>△5,509</u>
流動資産合計	<u>1,932,437</u>	<u>1,761,915</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	582,542	614,796
車両運搬具（純額）	8,055	7,890
工具、器具及び備品（純額）	18,206	18,918
土地	1,594,906	1,594,906
賃貸不動産（純額）	4,847,481	4,874,543
有形固定資産合計	<u>7,051,192</u>	<u>7,111,055</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
ソフトウェア	917	978
のれん	<u>1,674,948</u>	<u>1,662,780</u>
電話加入権	4,326	4,326
無形固定資産合計	<u>1,685,192</u>	<u>1,673,084</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	43,030	331,309
長期貸付金	—	24,162
その他	26,875	35,457
貸倒引当金	<u>△10,000</u>	<u>△10,000</u>
投資その他の資産合計	<u>59,905</u>	<u>380,929</u>
固定資産合計	<u>8,796,290</u>	<u>9,165,069</u>
資産合計	<u>10,728,727</u>	<u>10,926,985</u>

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,409	53,520
短期借入金	60,586	274,042
1年内返済予定の長期借入金	161,591	118,795
未払金	308,675	290,372
未払費用	34,574	31,570
未払法人税等	12,318	14,943
その他	155,122	106,912
流動負債合計	<u>779,278</u>	<u>890,156</u>
固定負債		
長期借入金	2,575,119	2,664,261
退職給付引当金	2,440	2,270
長期預り保証金	30,877	46,810
その他	20,483	16,552
固定負債合計	<u>2,628,920</u>	<u>2,729,895</u>
負債合計	<u>3,408,198</u>	<u>3,620,052</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,314,848	10,314,848
資本剰余金	4,004,963	7,039,002
利益剰余金	<u>△7,125,010</u>	<u>△10,022,401</u>
自己株式	<u>△11,807</u>	<u>△11,388</u>
株主資本合計	<u>7,182,993</u>	<u>7,320,059</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,339	△25,777
為替換算調整勘定	<u>123,445</u>	<u>△3,913</u>
評価・換算差額等合計	<u>128,784</u>	<u>△29,690</u>
新株予約権	8,750	—
少数株主持分	—	16,564
純資産合計	<u>7,320,528</u>	<u>7,306,932</u>
負債純資産合計	<u>10,728,727</u>	<u>10,926,985</u>



(2) 【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	875,446
売上原価	<u>592,378</u>
売上総利益	<u>283,067</u>
販売費及び一般管理費	<u>327,974</u>
営業損失(△)	<u>△44,906</u>
営業外収益	
受取利息	17,588
受取配当金	90,141
その他	4,173
営業外収益合計	<u>111,903</u>
営業外費用	
支払利息	48,061
為替差損	8,992
持分法による投資損失	726
その他	1,030
営業外費用合計	<u>58,811</u>
経常利益	<u>8,186</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>8,186</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>13,708</u>
法人税等合計	<u>13,708</u>
少数株主利益	<u>10,400</u>
四半期純損失(△)	<u>△15,923</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第 3 四半期連結累計期間  
(自 平成21年 1 月 1 日  
至 平成21年 9 月 30 日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,186
減価償却費	69,189
のれん償却額	67,410
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	170
受取利息及び受取配当金	△107,730
支払利息	48,061
為替差損益 (△は益)	8,992
持分法による投資損益 (△は益)	726
売上債権の増減額 (△は増加)	2,560
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	188,364
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,110
未払費用の増減額 (△は減少)	3,003
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△88,140
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	44,840
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	8,581
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△36,203
その他	△635
小計	144,764
利息及び配当金の受取額	107,451
利息の支払額	△48,061
法人税等の支払額	△13,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△13,325
有形固定資産の取得による支出	△9,600
無形固定資産の取得による支出	△193
貸付金の回収による収入	30,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△193,256
長期借入金の返済による支出	△89,141
自己株式の取得による支出	△432
自己株式の処分による収入	13
配当金の支払額	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,745
現金及び現金同等物の期首残高	632,915

(単位：千円)

当第 3 四半期連結累計期間  
(自 平成21年 1 月 1 日  
至 平成21年 9 月 30 日)

---

現金及び現金同等物の四半期末残高	547,169
------------------	---------

---

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年3月27日に開催した定時株主総会の承認により、以下のとおり振替処理(損失補填)しております。


科目	平成20年12月31日 現在残高	資本準備金よりその 他資本剰余金へ振替	損失補填	処理後残高
資本準備金 (円)	5,212,107,000	△1,207,132,442	—	4,004,974,558
その他資本剰余金 (円)	1,826,895,182	1,207,132,442	△3,034,027,624	0
繰越利益剰余金 (円)	<u>△10,022,401,907</u>	—	3,034,027,624	<u>△6,988,374,283</u>
合計	<u>△2,983,399,725</u>	0	0	<u>△2,983,399,725</u>

「参考資料」前年同期間に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	
	金額 (千円)	
売上高		825,203
売上原価		<u>1,051,539</u>
売上総損失 (△)		<u>△226,336</u>
販売費及び一般管理費		<u>329,336</u>
営業損失 (△)		<u>△555,672</u>
営業外収益		
受取利息	31,372	
受取配当金	213	
持分法による投資利益	55,619	
その他	7,185	94,390
営業外費用		
支払利息	55,227	
株式交付費	483	
為替差損	73,332	
その他	20,407	149,450
経常損失 (△)		<u>△610,732</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	18,276	
債権受贈益	483,854	
その他	1,350	503,481
特別損失		
固定資産除却損		<u>320</u>
税金等調整前四半期純損失 (△)		<u>△107,571</u>
法人税、住民税及び事業税		12,515
少数株主利益		3,925
四半期純損失 (△)		<u>△124,012</u>

(訂正前)

(財)財務会計基準機構会員 

## 平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 東海観光株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9704 URL <http://www.tokaikanko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) ホーン・チョン・タ  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理管掌取締役 (氏名) 宍戸 佐太郎 TEL 03-5488-1010  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績 (平成21年1月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	875	—	△0	—	52	—	28	—
20年12月期第3四半期	825	61.6	△538	—	△593	—	198	△92.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第3四半期	0.15	—
20年12月期第3四半期	1.04	—

(参考) 持分法投資損益 21年12月期第3四半期 △0百万円 20年12月期第3四半期 55百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第3四半期	16,181	12,773	78.9	67.47
20年12月期	16,649	13,029	78.2	68.81

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 12,764百万円 20年12月期 13,012百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年12月期	—	0.00	—		
21年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年12月期の連結業績予想 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,057	△4.5	△89	—	△68	—	△98	—	△0.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 有

新規 1社（社名 ラヤ・ハジャ社） 除外 4社（社名 センテナリー・デベロップメント社、グ  
ローリー・ドラゴン・デベロップメント  
社、ライト・タイム・プロパティーズ）  
社、チーム・ユナイテッド・プロパティ  
ーズ社

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	21年12月期第3四半期	189,467,686株	20年12月期	189,467,686株
② 期末自己株式数	21年12月期第3四半期	146,688株	20年12月期	132,010株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	21年12月期第3四半期	189,326,344株	20年12月期第3四半期	189,350,950株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている連結予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第 3 四半期連結累計期間の経営成績)

当第 3 四半期連結累計期間(平成21年1月1日～平成21年9月30日)におけるわが国の経済は、世界的な金融不安による景気の急激な悪化と株式市場には底打ちの兆しが見えてきたものの、設備投資の抑制や雇用・所得情勢の悪化を受け個人消費が停滞するなど、先行きは依然不透明な状況となっております。

当第 3 四半期の旅行業界は新型インフルエンザの懸念と天候不良の影響は大きく、旅行を控える動きが広がり第 2 四半期と比べ国内旅行の業況判断指数が 9 ポイント悪化しました。

このような経済状況のもとで、当社グループの経営成績は、株式市況の持ち直し等により売上高では875百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

利益面では、収益性の向上により、営業損失が0百万円と前年同期比538百万円、経常利益は52百万円で前年同期比646百万円とそれぞれ改善しました。また、四半期純利益は前年同期には特別利益869百万円を計上しておりましたので前年同期比169百万円減少の28百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### (1) 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、新型インフルエンザと天候不良の影響で、売上高は384百万円(前年同期比6.8%減)となりました。また、利益面では引き続き収益性向上に力を注ぎ、営業損失は21百万円(前年同期比39.2%減)と減収増益となりました。

#### (2) 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、景気低迷の影響を受け軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は207百万円(前年同期比13.4%減)となり、営業利益は86百万円(前年同期比21.2%減)と減収減益となりました。

#### (3) 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、国際的証券市況の持ち直しにより黒字化となり、売上高は92百万円を計上する事ができ、営業利益も同じく92百万円(前年同期は営業損失428百万円)となり、前年同期比520百万円の改善となりました。

#### (4) 霊園事業

霊園事業部門におきましては、景気低迷の影響を受けたものの堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は190百万円(前年同期比10.8%増)となり、営業利益は15百万円(前年同期は営業損失23百万円)と増収増益となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しているため、文中の前年同期比の増減金額及び増減率は、参考情報として記載しております。



2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第 3 四半期連結累計期間末における資産は開発事業等支出金及び投資有価証券の減少並びに有価証券の増加等により前連結会計年度末比468百万円減少の16,181百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比211百万円減少の3,408百万円となりました。

この結果、当第 3 四半期末における純資産は、前連結会計年度末比256百万円減少の12,773百万円となり、自己資本比率は、78.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 3 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比85百万円減少の547百万円となりました。

当第 3 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、営業投資有価証券の減少等により190百万円の収入となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入及び貸付金の回収等により6百万円の収入となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及び長期借入金の返済等により283百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当期の見通しにつきましては、平成21年7月30日付けの「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の移動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）

期中における重要な子会社の移動は「新規1社」及び「除外4社」で、詳細は以下の通りであります。

名称	所在地	資本金又は出資金	主要な事業の内容	議決権の所有割合
新規1社				
ラヤ・ハジャ社	マレーシア	100マレーシアリングギット	住宅等不動産開発事業	100.0%
除外4社				
センテナリー・デベロップメント社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
グローリー・ドラゴン・デベロップメント社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
ライト・タイム・プロパティーズ社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%
チーム・ユナイテッド・プロパティーズ社		2米ドル	住宅等不動産開発事業	100.0%

(注) 除外4社はすべて英領ヴァージン諸島国際事業会社法 (B.V.I International Business Act.) に基づく投資事業会社であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税効果会計につきまして、簡便な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

(四半期連結財務諸表に関する会計基準)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	747,083	819,504
売掛金	32,032	34,592
有価証券	508,360	351,145
貯蔵品	11,376	11,030
開発事業等支出金	<u>7,598,925</u>	<u>7,858,193</u>
その他	166,758	78,338
貸倒引当金	<u>△4,509</u>	<u>△5,509</u>
流動資産合計	<u>9,060,026</u>	<u>9,141,296</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	582,542	614,796
車両運搬具 (純額)	8,055	7,890
工具、器具及び備品 (純額)	18,206	18,918
土地	1,594,906	1,594,906
賃貸不動産 (純額)	4,847,481	4,874,543
有形固定資産合計	<u>7,051,192</u>	<u>7,111,055</u>
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
ソフトウェア	917	978
電話加入権	4,326	4,326
無形固定資産合計	<u>10,244</u>	<u>10,304</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	43,030	331,309
長期貸付金	—	24,162
その他	26,875	35,457
貸倒引当金	<u>△10,000</u>	<u>△10,000</u>
投資その他の資産合計	<u>59,905</u>	<u>380,929</u>
固定資産合計	<u>7,121,342</u>	<u>7,502,289</u>
資産合計	<u>16,181,369</u>	<u>16,649,585</u>

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,409	53,520
短期借入金	60,586	274,042
1年内返済予定の長期借入金	161,591	118,795
未払金	308,675	290,372
未払費用	34,574	31,570
未払法人税等	12,318	14,943
その他	155,122	106,912
流動負債合計	<u>779,278</u>	<u>890,156</u>
固定負債		
長期借入金	2,575,119	2,664,261
退職給付引当金	2,440	2,270
長期預り保証金	30,877	46,810
その他	20,483	16,552
固定負債合計	<u>2,628,920</u>	<u>2,729,895</u>
負債合計	<u>3,408,198</u>	<u>3,620,052</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,314,848	10,314,848
資本剰余金	4,004,963	7,039,002
利益剰余金	<u>876,204</u>	<u>△2,065,801</u>
自己株式	<u>△11,807</u>	<u>△11,388</u>
株主資本合計	<u>15,184,209</u>	<u>15,276,659</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,339	△25,777
為替換算調整勘定	<u>△2,425,128</u>	<u>△2,237,913</u>
評価・換算差額等合計	<u>△2,419,789</u>	<u>△2,263,690</u>
新株予約権	8,750	—
少数株主持分	—	16,564
純資産合計	<u>12,773,170</u>	<u>13,029,533</u>
負債純資産合計	<u>16,181,369</u>	<u>16,649,585</u>

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 1 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	875, 446
売上原価	<u>615, 173</u>
売上総利益	<u>260, 272</u>
販売費及び一般管理費	<u>260, 564</u>
営業利益	<u>△291</u>
営業外収益	
受取利息	17, 588
受取配当金	90, 141
その他	4, 173
営業外収益合計	<u>111, 903</u>
営業外費用	
支払利息	48, 061
為替差損	8, 992
持分法による投資損失	726
その他	1, 030
営業外費用合計	<u>58, 811</u>
経常利益	<u>52, 801</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>52, 801</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>13, 708</u>
法人税等合計	<u>13, 708</u>
少数株主利益	<u>10, 400</u>
四半期純利益	<u>28, 691</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第 3 四半期連結累計期間  
(自 平成21年 1 月 1 日  
至 平成21年 9 月 30 日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	52,801
減価償却費	69,189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	170
受取利息及び受取配当金	△107,730
支払利息	48,061
為替差損益 (△は益)	8,992
持分法による投資損益 (△は益)	726
売上債権の増減額 (△は増加)	2,560
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	188,364
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△41,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,110
未払費用の増減額 (△は減少)	3,003
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△88,140
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	44,840
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	8,581
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△36,203
その他	△635
小計	144,764
利息及び配当金の受取額	107,451
利息の支払額	△48,061
法人税等の支払額	△13,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	190,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△13,325
有形固定資産の取得による支出	△9,600
無形固定資産の取得による支出	△193
貸付金の回収による収入	30,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△193,256
長期借入金の返済による支出	△89,141
自己株式の取得による支出	△432
自己株式の処分による収入	13
配当金の支払額	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△85,745
現金及び現金同等物の期首残高	632,915

(単位：千円)

当第 3 四半期連結累計期間  
(自 平成21年 1 月 1 日  
至 平成21年 9 月 30 日)

現金及び現金同等物の四半期末残高	547,169
------------------	---------

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年3月27日に開催した定時株主総会の承認により、以下のとおり振替処理(損失補填)しております。

科目	平成20年12月31日 現在残高	資本準備金よりその 他資本剰余金へ振替	損失補填	処理後残高
資本準備金 (円)	5,212,107,000	△1,207,132,442	—	4,004,974,558
その他資本剰余金 (円)	1,826,895,182	1,207,132,442	△3,034,027,624	0
繰越利益剰余金 (円)	<u>△3,034,027,624</u>	—	3,034,027,624	<u>0</u>
合計	<u>4,004,974,558</u>	0	0	<u>4,004,974,558</u>



「参考資料」前年同期間に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 1 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	
	金額 (千円)	
売上高		825,203
売上原価		<u>1,102,004</u>
売上総利益		<u>△276,800</u>
販売費及び一般管理費		<u>261,926</u>
営業利益		<u>△538,726</u>
営業外収益		
受取利息	31,372	
受取配当金	213	
持分法による投資利益	55,619	
その他	7,185	94,390
営業外費用		
支払利息	55,227	
株式交付費	483	
為替差損	73,332	
その他	20,407	149,450
経常利益		<u>△593,786</u>
特別利益		
新株予約権戻入益	18,276	
債権受贈益	483,854	
長期預り保証金取崩益	<u>365,851</u>	
その他	1,350	<u>869,332</u>
特別損失		
固定資産除却損	320	
その他	<u>60,512</u>	<u>60,832</u>
税金等調整前四半期純利益		<u>214,713</u>
法人税、住民税及び事業税		12,515
少数株主利益		3,925
四半期純利益		<u>198,272</u>